

令和6年度本学卒業（指導医）

評価項目	5:極めて優れている	4:標準以上	3:標準	2:やや劣る	1:劣る
1. 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナリズム その時代における克己殉公の精神のあり方を自らの文脈の中で理解し、医療の専門家としての自覚と倫理観に基づいて行動することができる。（克己殉公の精神のもとに、日々自身の能力向上に努め・意欲的に自己研修を行っている。）（※克己殉公・・・私心を捨て、全ての人々を分け隔てなく助ける）	12	25	22	3	2
2. コミュニケーション能力 多様な立場や考え方を理解し、尊重し、共感力をもって他者と接するコミュニケーション能力を持ち、医療の現場における良好な人間関係を構築することができる。					
2-1. 患者やその家族とのコミュニケーション	9	30	23	1	0
2-2. 医療スタッフとの関係・コミュニケーション	11	26	23	4	0
2-3. 上級医との意思疎通・コミュニケーション	13	30	19	2	0
3. 統合された医学知識 基礎科学、基礎医学、行動科学、臨床医学、社会医学の知識をもち、統合した形で問題解決に応用することができる。	8	22	32	1	0
4. 患者の問題解決 （疾病の構造を理解し、社会医学や予防医学の視点を加え、患者の問題解決を考察できる）	8	22	32	2	0
5. 実践的診療能力 患者中心の視点に立ち、臨床研修現場において適切な診療を行う能力を獲得することができる。（身体診察、医療面接技能、臨床推論能力を含みます。）	8	28	25	3	0
6. 診療録記載	11	22	28	2	0
7. チーム医療における多職種との連携 （カンファレンス等のプレゼンテーション能力を含みます。）	9	26	26	2	0
8. 科学的研究心と思考能力 医学の進歩に関心をもち、科学的探究心を維持し、問題に対して論理的、批判的思考をもって行動することができる。	10	22	29	3	0
9. 情報システムの理解と活用 新しい情報交換システムや、高度な情報処理システムを理解し、医学の進歩に活用することができる。	8	20	34	1	0
10. 人々の健康の維持と増進を通じた社会貢献 社会の現状を認識し、医療人の立場から人々が健やかに暮らせる社会の構築に努めることができる。（国民の健康に係わる情報収集、社会医療制度等の理解、地域医療、災害医療、新興・再興感染症の予防等における社会貢献などについてお伺いします。）	6	14	39	3	1
11. 次世代の育成と教育能力 大学の教育、研究、医療における理念を行動化し、次世代に受け継いで行く使命を認識している。チーム医療やグループ活動におけるリーダーシップを発揮しつつ後進の指導を行うことができる。	6	17	33	7	0
12. 豊かな人間性と国際性 人類と生命に対する「愛」を内包する豊かな人間性をもち、日本のアイデンティティを尊重しながら、広く世界に目を向け行動することができる。	10	16	33	5	0
13. 総合的臨床能力 1～12までの総合的な評価をお願いします。	9	28	23	2	0

【当該研修医についてコメントがあれば記載をお願いします。】

非常に真面目で熱心に研修に取り組んでいます。周囲とのコミュニケーションも良好であり、レポート作成も順調に進んでいます。

研修評価の自己評価、症例の入力遅滞が頻回に見受けられた。面談で指導したが改善がなく、 1 年目から 2 年目の進級に新たに基準を設け、暫定進級とした。基本的能力は低くはないが、正面から取り組む姿勢を拝見することは少なかった。

何事にも正面から取り組み、積極性があった。

人に対して非常に「優しい」面を持っています。常に他者の気持ちを考えられる人であります。

人柄も穏やかで頑張っています。誰とでも良好な関係を構築できると思われます。

まじめに研修を行っています。2年次になり1年次の指導も積極的に行ってくれており、当院にとってありがたい存在となっています。

大変優秀です。

コミュニケーションを良くとっていました。

入職後、内科、外科、救急科等で研修を行っていますが、いずれの診療科でもまじめに研修に取り組んでおり、指導医からの評判は大変良好です。積極的に知識や技術を習得する姿勢が見られ、患者さんとも良好な関係を築くことができています。

非常に真面目に仕事に取り組んでいます。安心して見ていることができます。

非常に優秀です。仕事はよくできます。そのためか、傲慢さが感じられます。謙虚さが少しあると良いのですが。

優秀です。やや積極性に欠ける気がします。

非常に真面目で意欲もあり熱心に研鑽を積んでいます。

積極的に真摯に研修に取り組んでいます。

医療の専門家としての倫理観について指導しています。

既に学会発表も経験されています。公平な態度で研修に臨まれており上級医からの評価も高いです。

温厚でコミュニケーション能力は高く、臨床医としての能力はとても高いと評価しております。

非常に優秀です。

堅実に研修されていました。

積極性があれば、もっとより良い時間、2年間を過ごせたと思われる。

言われたことはするが、自ら進んで臨床に携わろうとする姿勢に欠ける。

非常に熱心に診療に取り組んでいます。学会発表も立派にしてくれました。

研修意欲はすごくあり良いです。

当科は1年生のはじめの頃にローテートしてきました。まじめで誠実な印象でした。研修が進むにつれて、様々な部分で成長が見えました。今後に期待しています。

人柄やコミュニケーションは、患者さんに優しく対応できています。経験や学習を積んでいけば、良き臨床医に成長すると思います。

大変優れています。

非常にバランスがよく、熱心に診療に取り組んでいました。模範となるレジデントでした。

まじめに勉強していると思います。

いい意味でも悪い意味でも非常に標準的に感じます。とても真面目に業務に取り組む一方で、アイデアの提案をしたり、リーダーシップを発揮したりする場面はないです。知識は標準的、スキルは苦手意識があるようです。AIを使って上手にスライドを作ります。リーダーシップや人間性はこれから成長していけたら、と思っています。

非常に評価している指導医もありますが、休みたいという意見を率先して発言するため、（誰かの意見を代弁しているのかもしれませんが）こちらとしては困ってしまうことがあります。病棟におらず医局でカルテを書いていることが多いのも気になります。

元気に笑顔で研修に励んでいました。

非常に優秀で意欲もあり、勉強会の自主的な開催などリーダーシップもある先生です。将来ますますの活躍が期待できます。

困難な症例に対しても熱心に診療を行いました。

真面目に研修を行っていました。

積極性に乏しい印象。

心エコーや心電図に興味を持ち診療ができる。自身で学習能力がある。

病棟業務や手術等に自ら積極的に参加する姿勢が良かったです。

よく頑張ってくれました

上級医にも積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見られ、意欲が感じられました。今後もより多くの経験を積んで、良き医師、良き指導医を目指してください。

大変積極的で、しっかり勉強し、周囲スタッフとのコミュニケーションも良好です。

言われたことはきちんとできる。当たり前のようにでも大切な姿勢です。時間外の手術(検査)にも担当患者であればしっかり残るところが良い(最近の研修医では減っている姿勢)

私が指導した研修医はまだ多くないですが、その中では非常に優れていると感じています。

外来診療の経験は少ないはずですが、経験ある研修医の先生と同じようにスムーズに診療されていました。

積極的に検査に参加するなど、医学的な探究心が高く、研修医として優れていました。

様々な臨床経験や当直をしたいという意思表示があった。

大変優れた診療能力とコミュニケーション能力を有すると思います。

極めて優秀で積極的に研修に取り組んでおり、高く評価しております。このまま継続して頂ければ充分です。

【研修医を指導されたご経験に基づき、特に本学の学生教育に関して、良いところ、不足している内容などございましたらお教えてください。】

全般的に真面目な学生が多い印象があります。当院のカリキュラムを忠実に遂行しており、他大学の研修医と比較して優れていると思います。

上記の反面になりますが、主張するところはつよく主張せねばならない事もあります。

勉強熱心であった。

医師以外の医療スタッフからの評判もよく、適切にチーム医療を行うことができいております。不足している内容は感じません。

良いところ：医療の知識が深く、優秀と思います。

不足：個々の性格によりますが、謙虚さに欠ける研修医がやや多い。

詳しい学生教育については存じ上げませんが他大学に比して臨床能力が高いと感じます。

多分に「個人の問題」が大きい要素です。マッチング欠員による2次募集で当院にこられましたがとても良い卒業生です。

学生時代の教育が行き届いており、優秀な医師を育てることができていると推察いたします。

まじめな方が多い。

不足：積極性、ルールを守ること

標準以上の方が多いと思います。

特に大学の特性を感じることはありませんでした

毎年貴大学の学生さんが当院とマッチしていると記憶しています。皆さんまじめな方です。不足しているところを敢えてあげるなら、柔軟性かなと感じています。

ルールがないこと、慣例と違うことに敏感に反応する先生が多かった気がします。それでも多くの先生が同期のお手本となるような行動をして下さっています。

みなさま品格があります。

向上心が旺盛ではない。受け身ではなく貪欲に努力してほしい。

礼儀がきちんとしている。コメディカルとのコミュニケーションも良好。

学術的なこと以上に患者さんを誇るという事に積極的な研修医が多く、素晴らしいと感じます。

当院での研修医は貴学の研修医は特に問題なく優秀と評価しています。

医師のシャドウイングは昔ほどできなくなっている(関わりが薄い、定時で帰宅するため)

概ね皆意欲的に研修に取り組めていると思います。

実地研修での裁量の拡大や研究分野の推奨を検討いただきたく存じます

問題点に対する打開策の提案・発言をより主体的・能動的に行えるような環境整備

学生・研修医の個人の資質によるところが大きいですが、臨床推論から診断検討していくための試行についてのトレーニングをもう少し行った方がよい方が多い印象を受けます。

挨拶やコミュニケーションは非常にいい印象であった。要領は良いのでパフォーマンスとしては概ね問題ないが体力配分や集中力の持続力は要改善。

総合的な診療能力、予防医学

【その他、本学の卒業生に関してお感じになったことがございましたら、お教えてください。】

診療面に関しては特に問題ありません。経営的な面ではもっと積極的に経営のことも考えてほしい点は多々あります。

多くの卒業生の方々と仕事している訳ではなく、不明です。

印象として人柄も良好で、積極的な研修医が多いと思われます。

総じて、研修態度もまじめで熱心な先生が多い印象です。

日本の医療に大いに貢献できると期待できる先生方が多いと思います。

全体的に医療の知識が深く、地頭が良いと感じます。

優秀と感じます。

あまり多くはありませんが、日医の卒業生は明るく楽しく研修をしてくれています。

皆様コミュニケーション能力が高いです。

欠勤が多く、十分な研修ができているとは言い難い。

コミュニケーション能力の高い卒業生が多いと思います。

日本医大より派遣して頂いている医師は、みな積極性、探究心、手技のいずれも優秀であると感じております。（形成外科の医局より2名派遣して頂いています。）

今後とも当院での研修を続けてほしいと思っております。よろしくお願いいたします。

積極的に参加する姿勢をもつ学生が増えて欲しい

外向的・協力的な方が多い印象を受けます。

個によるがクリニカルクラークシップでの経験が不足していると感じる場面は何度かあったので、今後できるだけクリニカルクラークシップの改善に貢献したい。

令和7年度本学卒業（指 導 医）

評価項目	5:極めて優れている	4:標準以上	3:標準	2:やや劣る	1:劣る
1. 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナリズム その時代における克己殉公の精神のあり方を自らの文脈の中で理解し、医療の専門家としての自覚と倫理観に基づいて行動することができる。（克己殉公の精神のもとに、日々自身の能力向上に努め・意欲的に自己研修を行っている。）（※克己殉公・・・私心を捨て、全ての人々を分け隔てなく助ける）	9	27	25	3	0
2. コミュニケーション能力 多様な立場や考え方を理解し、尊重し、共感力をもって他者と接するコミュニケーション能力を持ち、医療の現場における良好な人間関係を構築することができる。					
2-1. 患者やその家族とのコミュニケーション	7	28	28	1	0
2-2. 医療スタッフとの関係・コミュニケーション	11	28	24	1	0
2-3. 上級医との意思疎通・コミュニケーション	16	27	20	0	0
3. 統合された医学知識 基礎科学、基礎医学、行動科学、臨床医学、社会医学の知識をもち、統合した形で問題解決に応用することができる。	7	20	33	4	0
4. 患者の問題解決 （疾病の構造を理解し、社会医学や予防医学の視点を加え、患者の問題解決を考察できる）	6	16	40	2	0
5. 実践的診療能力 患者中心の視点に立ち、臨床研修現場において適切な診療を行う能力を獲得することができる。（身体診察、医療面接技能、臨床推論能力を含みます。）	10	19	31	4	0
6. 診療録記載	8	20	29	6	0
7. チーム医療における多職種との連携 （カンファレンス等のプレゼンテーション能力を含みます。）	8	22	30	4	0
8. 科学的研究心と思考能力 医学の進歩に関心をもち、科学的探究心を維持し、問題に対して論理的、批判的思考をもって行動することができる。	12	15	31	6	0
9. 情報システムの理解と活用 新しい情報交換システムや、高度な情報処理システムを理解し、医学の進歩に活用することができる。	7	22	35	0	0
10. 人々の健康の維持と増進を通じた社会貢献 社会の現状を認識し、医療人の立場から人々が健やかに暮らせる社会の構築に努めることができる。（国民の健康に係わる情報収集、社会医療制度等の理解、地域医療、災害医療、新興・再興感染症の予防等における社会貢献などについてお伺いします。）	6	14	39	4	0
11. 次世代の育成と教育能力 大学の教育、研究、医療における理念を行動化し、次世代に受け継いで行く使命を認識している。チーム医療やグループ活動におけるリーダーシップを発揮しつつ後進の指導を行うことができる。	6	15	36	7	0
12. 豊かな人間性と国際性 人類と生命に対する「愛」を内包する豊かな人間性をもち、日本のアイデンティティを尊重しながら、広く世界に目を向け行動することができる。	8	19	32	5	0
13. 総合的臨床能力 1～12までの総合的な評価をお願いします。	11	25	27	1	0

【当該研修医についてコメントがあれば記載をお願いします。】

優れた人格・知識があり、今後の成長を期待しています。

まだ3ヶ月、未知な部分も多い

まじめに取り組み、共に患者さんのために力をつくそうという姿勢があります。

将来の志望科も含め、目的意識がはっきりしており、意欲的に研修に取り組むことができている。

大変すばらしい人物です。

真面目で誠実であり、貴大学の教育がしっかりしているのが分かります。

元気で明るく積極的です。

研修開始直後だったこともあり、積極性に欠ける印象でした。今後、慣れてくることで、さらなる向上心に期待したいです。

真剣に業務をこなしており、責任感の強い信頼できる研修医であると感じています。

特にありません。始まって3～4カ月で研修医の能力を評価できるとは思いません。本アンケートの意義は何ですか？

研修医開始直後のためまだ評価は難しいと思いますが頑張ろうと努力している姿はありました。

1年目のジュニアレジデント内でもリーダーシップを発揮しています。

とても優しい先生です。

他職・同僚・先輩と円滑にコミュニケーションできています。

放射線科での評価となります。評価3としている部位は当科では評価困難な項目になります。

社会貢献のできる医師になってゆくと思います。

熱心に知識・技術の習得に励んでいました。研修医1年目に相応の接遇、コミュニケーションができ、患者対応・他職種とのかかわりができていました。

非常に真面目。スタッフや研修医との関係性の構築や次に研修する同僚のために良い環境を作成しておこうとしてくれるとのこと、非常に気配りができる先生との指導医からのコメントです。

礼儀正しくまじめ

非常に熱心に研修に取り組まれております。

非常に社交的かつ前向きで素晴らしいです。

おそらく優秀と推察します。評価項目に現時点で評価し難いものがあるのも事実です。

一生懸命勉強していました。

永続的に努力する姿勢がある。

真面目に研修できています。

医師として、臨床能力、コミュニケーション能力問題ありません。

臨床への積極性もあり、礼節もあり、非常に高く評価しています。

非常に能力のある研修医です。

診療に積極的に参加し、有意義な研修生活を送られていました。

積極的に診療に参加し、研修に取り組んでおります。

コミュニケーション能力があり、日々努力していました。

様々なことに疑問を持ち、日々努力しています。

外科スタッフとのコミュニケーション、他職種さんとのコミュニケーションが自然でよかった。長時間の手術にたえられた。患者さんにもっと関心を持ち、積極的に診察、評価できるようになるとなおよい。手術では主にカメラを持ってもらったが、上達した。

最初は緊張感もあり、表情も硬かったですが、仕事を頼んだ時に一緒に作業をして、効率よく進められるように工夫しながら取り組んでくれ、コミュニケーションも十分とれていました。学年の近い上級生と一緒に、隙間時間に医局でガイドラインなどを勉強しているのが印象的でした。周りに影響されやすいところもありそうですが、真面目な素質もありますので、このまままっすぐに成長してほしいと思います。

素直で今後が期待できます

【研修医を指導されたご経験に基づき、特に本学の学生教育に関して、良いところ、不足している内容などございましたらお教えてください。】

なぜこの時期でのアンケート調査にしたのか。

とても真面目な研修医が多いという印象です。コミュニケーション能力が高い子が多いです。

母校愛が強いと感じる。

大変すばらしいと思います。

素直に上級医のいう事を行っていただいているのが、有り難いです。

非常に医学的知識が豊富だと思います。

臨床に直結する知識はまだ足りません。徐々に修正されていくと考えます。

少数例のみですので一般化は困難ですが、貴学出身の専攻医を何名か指導した経験からは、やや専門的に向きすぎかなという印象もあります。

非常に優秀で当科初日から質の高い質問を多くしてくれています。自主学習を高いレベルでこなしていると思います。

他大学の卒業生よりも非常に優秀で熱意がすごいです。

押さえるべきポイントをしっかり押さえることが出来ること。患者想い。

難しい問題ですが、研修医の臨床への意欲の差が大きいと感じることがあります。

良いところ：素直な人間性の学生が多い、不足：医学的知識に欠けている学生もいる

良いところ：プレゼンテーション能力が優れています。

良くも悪くも要領よくこなせる学生が多い。地道に取り組むことの大切さを学べる機会を提供したい。

疑問を持つ姿勢

とても真面目に研修されておりました。この調子で継続できれば良い医師になると思います。

良いところは各個人を尊重するところ、不足している部分は積極的な姿勢の育成かと思います。

診療に対する受け身な姿勢が、学生時代から続いている感じがします。

良い意味で自然体な印象でした。

CC実習では、実習を「見学する場」と捉えている学生も少なくないように感じています。臨床現場において学生が主体的に参加できる実践的な実習を設定することには難しさもありますが、当科では、病棟で行う検査の外回りなど、学生にも可能な範囲で実際の診療に参加してもらうようにしています。

当初は戸惑う様子を見せる学生も少なくありません。そのため、実習開始時に「学生も医療チームの一員として参加する」ということを十分に説明し、自分がチームの中でどのような役割を担うことができるのかを自ら考え、行動するよう指導しています。

4週間の実習では、徐々に自らの役割を理解し、主体的に行動できるようになる学生も多くみられます。一方、2週間の実習では、検査に立ち会える回数も1ー2回程度になってしまうこともあり、十分に体得するところまで至らないこともあったように感じています。

CC実習を単なる見学に終わらせず、学生が医療チームの一員として自ら考え、行動する経験を積むことは、臨床実習における重要な学びの一つであると考えています。そのような考えが学生にも伝わるといいのではないかと思います。

【その他、本学の卒業生に関してお感じになったことがございましたら、お教えください。】

人物、能力共に優秀な先生が多い印象です。目的が定まっていることが多いと感じます。

過去の貴大学卒業生と比べて個性的ではないように思いますが、逆に協調的で平和的です。

大変優秀です。

常に真面目に医療に取り組んで頂いているので、本当に有り難い研修医が多いと思います。

現状、大きな問題なく研修しております。

特にマイナスの印象はありません。

毎年当院で採用していますが、みなさん優秀です。

皆さまコメディカルのスタッフと良好な関係で仕事をされています。英語が話せる方が多いです。

ただ、これは講座毎の違いが大きいと思いますので、一般化は困難です。

優秀な医師が多いと感じます。

非常に活発でよいとは思いますが、規則を守るという事への配慮に少し欠ける方もいました。但し、これは貴学の教育の問題ではなく、個人的な気質の問題かもしれせん。

採用試験の時から非常に優秀でした。

人間的に魅力のある方が多い印象です。

他学卒業生と比較し、プレゼンテーション力が低いと思います。

コミュニケーション能力に長けている人が多いと思います。

まじめさに欠ける学生もいる

上級医の先生にお世話になったことがあります。いろいろとご指導頂き、とても熱心な先生でした。

診療に対する受け身な姿勢が、学生時代から続いている感じがします。

やはり、少しぬるま湯には居るのかなと思う卒業生はいると思います。

H21卒の私のときより臨床実習を真面目にやっていた学生が多く、初期研修の時点で知識も十分にあり、よりよい方向へ向かっている印象です。

診療に対してより積極的に取り組める研修医が増えることを望みます。

令和6年度本学卒業（研修医）

評価項目	5:極めて優れている	4:標準以上	3:標準	2:やや劣る	1:劣る
1. 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナルリズム その時代における克己殉公の精神のあり方を自らの文脈の中で理解し、医療の専門家としての自覚と倫理観に基づいて行動することができる。（克己殉公の精神のもとに、日々自身の能力向上に努め・意欲的に自己研修を行っている。）（※克己殉公・・・私心を捨て、全ての人々を分け隔てなく助ける）	5	6	29	0	1
2. コミュニケーション能力 多様な立場や考え方を理解し、尊重し、共感力をもって他者と接するコミュニケーション能力を持ち、医療の現場における良好な人間関係を構築することができる。					
2-1. 患者やその家族とのコミュニケーション	4	15	21	0	1
2-2. 医療スタッフとの関係・コミュニケーション	4	13	22	1	1
2-3. 上級医との意思疎通・コミュニケーション	4	15	20	1	1
3. 統合された医学知識 基礎科学、基礎医学、行動科学、臨床医学、社会医学の知識をもち、統合した形で問題解決に応用することができる。	2	4	31	3	1
4. 患者の問題解決 （疾病の構造を理解し、社会医学や予防医学の視点を加え、患者の問題解決を考察できる）	2	5	31	2	1
5. 実践的診療能力 患者中心の視点に立ち、臨床研修現場において適切な診療を行う能力を獲得することができる。（身体診察、医療面接技能、臨床推論能力を含みます。）	2	5	29	4	1
6. 診療録記載	2	8	28	2	1
7. チーム医療における多職種との連携 （カンファレンス等のプレゼンテーション能力を含みます。）	4	5	27	4	1
8. 科学的研究心と思考能力 医学の進歩に関心をもち、科学的探究心を維持し、問題に対して論理的、批判的思考をもって行動することができる。	2	7	28	3	1
9. 情報システムの理解と活用 新しい情報交換システムや、高度な情報処理システムを理解し、医学の進歩に活用することができる。	2	6	26	6	1
10. 人々の健康の維持と増進を通じた社会貢献 社会の現状を認識し、医療人の立場から人々が健やかに暮らせる社会の構築に努めることができる。（国民の健康に係わる情報収集、社会医療制度等の理解、地域医療、災害医療、新興・再興感染症の予防等における社会貢献などについてお伺いします。）	4	2	30	4	1
11. 次世代の育成と教育能力 大学の教育、研究、医療における理念を行動化し、次世代に受け継いで行く使命を認識している。チーム医療やグループ活動におけるリーダーシップを発揮しつつ後進の指導を行うことができる。	3	4	28	4	1
12. 豊かな人間性と国際性 人類と生命に対する「愛」を内包する豊かな人間性をもち、日本のアイデンティティを尊重しながら、広く世界に目を向け行動することができる。	3	7	25	4	1
13. 総合的臨床能力 1～12までの総合的な評価をお願いします。	4	5	29	1	1

【現在の臨床研修についてコメントがあれば記載をお願いします。】

【学内で研修したコメント】

自分に不足している部分をローテート組み換え等で補うことができ満足している。

概ね満足していますが、残業代のルールと必修科目の最低出席日数を4病院で統一してほしいです。

内科で病棟当直がないのであればよいと思う。

充実しています

研修医の能力があまり上がらない研修になっていると思う。

自分の将来の医師像、やりたいことを見つけられる充実した日々を送らせてもらっています。

【学外で研修したコメント】

病棟での診療だけでなく、外来の診療も積極的に行わせてもらい、より実践的な研修になっています。手技もやらせてもらえる機会が多いです。

救急外来での初期対応などを数多く経験することができており、充実しています。

知識を臨床に活かせるように努力していきます。

【臨床研修を始めてみて、特に本学の学生教育に関して、良いところ、不足している内容などありましたらお書きください。】

【学内で研修したコメント】

学生に助けてもらいながら研修でき、学生教育がちゃんとしており満足している

他大学との同期と大学実習の話をすると思うのは実習の時間が長いのはいいが患者さんに問診したり手技をさせてもらう機会が少ないのかなと感じる

好奇心旺盛だと教育の幅が増えるところは良い点だと思います

学生と研修医は立場が違いすぎて、学生教育の難しさを自分が研修医になって初めて感じた。国試の過去問と併せて講義してくださる先生の話は記憶に残りやすいと思います。

【学外で研修したコメント】

総合診療科でのカルテの書き方や症例発表の練習をしたことは、臨床研修でかなり活きていると思いました。また、学生時代の実習で各科の先生方がやって下さったクルズスも併存疾患を見るうえでとても役立っていると感じました。

自習室などの環境がさらに充実すると良い。

学生がカルテを自由に閲覧できないため、患者の情報を得ることができずに実習に参加せざるを得ない場面が多々ありました。

【その他、本学の学生教育に関して、感じることはありません、お書きください。】

【学内で研修したコメント】

臨床実習でもっと医療に参加してもいいのかもしれない

【学外で研修したコメント】

クルズスや症例発表の機会は多く、研修でも役立っていると思います。ただ、学生のうちからシミュレーションや手技に触れる機会がもっとあれば良かったと思いました。

令和7年度本学卒業（研修医）

評価項目	5:極めて優れている	4:標準以上	3:標準	2:やや劣る	1:劣る
1. 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナルリズム その時代における克己殉公の精神のあり方を自らの文脈の中で理解し、医療の専門家としての自覚と倫理観に基づいて行動することができる。（克己殉公の精神のもとに、日々自身の能力向上に努め・意欲的に自己研修を行っている。）（※克己殉公・・・私心を捨て、全ての人々を分け隔てなく助ける）	5	13	31	0	1
2. コミュニケーション能力 多様な立場や考え方を理解し、尊重し、共感力をもって他者と接するコミュニケーション能力を持ち、医療の現場における良好な人間関係を構築することができる。					
2-1. 患者やその家族とのコミュニケーション	5	18	26	1	0
2-2. 医療スタッフとの関係・コミュニケーション	6	21	22	1	0
2-3. 上級医との意思疎通・コミュニケーション	7	20	21	2	0
3. 統合された医学知識 基礎科学、基礎医学、行動科学、臨床医学、社会医学の知識をもち、統合した形で問題解決に応用することができる。	0	11	31	8	0
4. 患者の問題解決 （疾病の構造を理解し、社会医学や予防医学の視点を加え、患者の問題解決を考察できる）	0	9	32	8	0
5. 実践的診療能力 患者中心の視点に立ち、臨床研修現場において適切な診療を行う能力を獲得することができる。（身体診察、医療面接技能、臨床推論能力を含みます。）	0	9	33	7	0
6. 診療録記載	1	11	30	7	0
7. チーム医療における多職種との連携 （カンファレンス等のプレゼンテーション能力を含みます。）	0	16	27	6	0
8. 科学的探究心と思考能力 医学の進歩に関心をもち、科学的探究心を維持し、問題に対して論理的、批判的思考をもって行動することができる。	3	11	28	7	0
9. 情報システムの理解と活用 新しい情報交換システムや、高度な情報処理システムを理解し、医学の進歩に活用することができる。	0	13	27	8	1
10. 人々の健康の維持と増進を通じた社会貢献 社会の現状を認識し、医療人の立場から人々が健やかに暮らせる社会の構築に努めることができる。（国民の健康に係わる情報収集、社会医療制度等の理解、地域医療、災害医療、新興・再興感染症の予防等における社会貢献などについてお伺いします。）	1	11	31	6	0
11. 次世代の育成と教育能力 大学の教育、研究、医療における理念を行動化し、次世代に受け継いで行く使命を認識している。チーム医療やグループ活動におけるリーダーシップを発揮しつつ後進の指導を行うことができる。	1	9	30	9	1
12. 豊かな人間性と国際性 人類と生命に対する「愛」を内包する豊かな人間性をもち、日本のアイデンティティを尊重しながら、広く世界に目を向け行動することができる。	3	12	27	6	2
13. 総合的臨床能力 1～12までの総合的な評価をお願いします。	2	13	29	6	0

【現在の臨床研修についてコメントがあれば記載をお願いします。】

【学内で研修したコメント】

指導体制、当直回数等良好です。自主的な診察等も認めていただき、不確かな点を確認しても快く先生方が回答してくれます。

内科を一通りローテできるのは良いところだと感じている。ただ、リウマチ科と腫瘍内科が同時なのはやりにくく感じた。

手技をたくさんやらせていただけるのが、非常にありがたいです。ER当直でファーストタッチをやらせていただけるのも非常に勉強になります。

上級医の先輩方に非常によく教えていただいています。

大学の先輩が多くやりやすい。他大学の先生も教育的であると思う。

色々な科が見られてよい。

6年間学んだことがすぐに活かせる現場で非常に感謝しています。

【学外で研修したコメント】

とても良い同期に恵まれました。

とても毎日学ぶことが多く充実しています。

現在は5月～8月にかけて、総合診療科病棟において導入期研修を行い、基本的な病棟管理能力を身につけている。入院～退院までの基本的な流れを学習している。また、ER当番にて、校外対応を学んでいる。

自分の興味のある分野に関して、希望するとたくさん経験の機会をいただけて、毎日が充実しています。

非常に充実している一方で、日々の業務に忙殺され、丁寧なアセスメントや自学、研究活動の時間が十分に確保できないのが課題。特に内科では病棟業務が多く、手技も少なめ。

【臨床研修を始めてみて、特に本学の学生教育に関して、良いところ、不足している内容などありましたらお書きください。】

【学内で研修したコメント】

学生がきちんと毎日出席し、上級委の話をよく聞いている。特に不足は感じない。

点でしか患者を診ることができないため、opeもなぜこの患者にこのopeが必要なかわからないまま、みることになる。

実際にやってみることが不足していたと感じる。たくさんのことを見学できたことはよかったが、診察・カルテ記載・手技など、手を動かす機会は少なく感じた。

学生時代からルート採血などが出来たらいいなと思いました。

実習が見学型であったため、手技が遅れをとっていると感じた。

CCでもっとカルテ業務について教えてほしかったです。文献を調べる方法も同様です。

学生なので仕方ない部分はあるが、見てるだけが多い気がする。また、学生によってやる気もまちまち。

学生時代には、患者さんに話しに行く回数が少なかった。何でもよいので、所見を取る回数を増やしたらいいと思う。

3人or4人で1班のCCで、科によっては指導医の先生が複数ついて下さって班の中でさらに分かれて実習できた科があったのが良かった。

4年時のオスキー練習で繰り返し行った、医療面接の実践は、今に生きていると感じる。

良いところ:現場に即した知識と技能を意識している。

不足しているところ:学生間や先生とのつながりが薄く、人間関係に関しては個人に依存している点が多い。

手技を積極的にできるのが良い。輸液などの管理があまり学ぶ機会がない。

【学外で研修したコメント】

実践的な医療の学び

貴学で学べてとても良かったと感じております。

実習中に患者さんに対して診察することがほとんどなかったことや、実習OSCEが7月には終わっていたのでほとんど知識がない状態で患者さんと接することになって、とても苦労した。

全診療科をCCで回れるところは良いと思う。初期研修では回れない診療科も多くあり、イメージがあるかないかは大きな違いだと感じる。

教育熱心な先生方にご指導頂いた経験が、今の自主学習への姿勢につながっていると思います。

学生の自主性を大事にして、やりたいと思ったことを様々な経験させて頂けて非常に有り難かった。

【その他、本学の学生教育に関して、感じることはありません、お書きください。】

【学内で研修したコメント】

日医の教育システムでよかったと感謝しております。

学生は自由が一番です。

6年間楽しかった。

講義や試験、実習だけでなく、自分が本当にしたいことを見つけてそれに全力で取り組めるカリキュラム（特にGPA上位者プログラム）であり、自分がいままでやってきたことが卒後になって大いに活かしている実感がある。

【学外で研修したコメント】

学生が病棟の患者さんと自由に話し合えるのは、患者さんとの関わり方を学ぶ上でとても役に立ちました。

とても楽しい学生生活でした。ご指導いただき、誠にありがとうございました。

もう少し患者さんを診察する機会が欲しかった。7-12月の間、正直勉強と部活以外時間はあったので、自由参加の実習などできるようにしてほしかった。

もう少しカルテ記載や手技の経験をできたらいいと思う。1年半のCCの中で、問診をしたのが1回、聴診をしたのが片手で数えられる回数しかなかったのは少ないと感じる。

熱心で、学生想いの先生方に、レポートやプレゼンのご指導を繰り返していただけたことは今にとっても生かされています。